

題目	健康・医療・環境の融合による市民参加型コミュニティ農業プロジェクトに関する研究
著者	弦間正彦

研究プロジェクト「農地と里山が結ぶ多世代参加の医農福連携モデル」研究を発展させるための基礎研究として、定量化指標を用いた研究活動を行った。

調査・研究の概要

前年度には、生産物の高付加価値化と、これに結びつく社会・経済的意義を明確化する情報提供のあり方に関して、非仮想的な条件のもとで、異なる情報によって消費者の顕示する支払い意志額に発生する差を、統計的に分析して、政策的含意の導入を行った。具体的には、福祉と農業の連携に関して理解を深めるためと分析の枠組みを確立するために、ソーシャルファームにおいて有機栽培・加工されたオリーブオイルを使い、実験オークション法を用いた経済実験を行った。本年度は、その調査結果を、先行研究も踏まえて、さらに精査し、政策的含意を導入する作業をおこなった。

考察結果及び政策的含意

1. 農産物・食品の公的な属性であるソーシャルファームによる生産物であることは、消費者の農産物・食品に対する支払い意志額を向上させる。
2. 農産物・食品の私的な属性である有機栽培に関する情報は、消費者の食品に対する支払い意志額を向上させる。
3. ソーシャルファームについての詳細情報をもつ価格プレミアムは、当該事例のオリーブオイルにおいて有機栽培に関する詳細情報より高かった。
4. 私的な属性である有機物に関する情報に対する評価は、食品の安全性に関心の高い被験者において、統計的に有意に高かった。一方で、農産物・食品の公的な属性であるソーシャルファームによる生産物である情報に対する評価は、福祉に関心の高い消費者においては、統計的に有意な差は観察されなかった。
5. 農産物・食品を市場において差別化する際には、その属性を踏まえた上で、消費者にアピールする必要があることが政策的含意として導入された。ただし、より一般化した結論を導入するためには、より多くの事例にあたる必要がある。

表1 情報に対する経済価値の存在の有無

	平均値の差	標準偏差	t-値	統計的な有意度
(1)情報なし VS. 情報なし				
H ₀ : WTP_1A=WTP_1C	3.58	8.05	0.78	
H ₀ : WTP_1B=WTP_1C	-4.25	7.82	1.30	*
H ₀ : WTP_1A=WTP_1B	7.83	8.05	2.11	**
(2)詳細情報あり VS. 詳細情報あり				
H ₀ : WTP_5A=WTP_5C	55.09	0.40	7.08	***
H ₀ : WTP_5B=WTP_5C	21.85	0.39	5.11	***
H ₀ : WTP_5A=WTP_5B	33.23	0.43	7.08	***
(3)詳細情報あり VS. 情報なし				
H ₀ : WTP_5A=WTP_1A	36.82	10.46	8.26	***
H ₀ : WTP_5B=WTP_1B	11.42	8.27	3.51	***
H ₀ : WTP_5C=WTP_1C	-14.69	7.13	3.62	***
(4)植物油健康情報 VS. 情報なし				
H ₀ : WTP_2A=WTP_1A	1.90	8.63	0.95	
H ₀ : WTP_2B=WTP_1B	-0.66	7.50	0.47	
H ₀ : WTP_2C=WTP_1C	-3.95	7.84	1.98	**
(5)基本特徴情報 VS. 植物油健康情報				
H ₀ : WTP_3A=WTP_2A	16.23	9.63	6.13	***
H ₀ : WTP_3B=WTP_2B	7.53	7.95	3.27	***
H ₀ : WTP_3C=WTP_2C	-8.04	7.04	4.50	***

注： Aはソーシャルファームが有機栽培したオリーブオイル、Bは市販の有機栽培されたオリーブオイル、Cは市販の非有機栽培によるオリーブオイル A、B、Cの後の数字はラウンドを表す。ラウンドごとに、食品、生産方法に関する情報を追加した